

平成26年度 神奈川県地域商業ブランド確立総合支援事業採択一覧

(申請順)

	事業実施団体	代表者名	市町村名	事業概要
1	相模原中央商店街協同組合	理事長 横山 房男	相模原市	当商店街が主催した絵本コンクールの中から生まれた「こけ丸」を地域資源とし、こけ丸グルメなどの商品開発や、こけ丸グルメを食べられる拠点(店舗)を設置することなどにより、「誰もが笑顔で暮らす街」を象徴する「こけ丸」を、地域ブランドにしていく事業
2	上町商店街連合会	会長 今関 直志	横須賀市	夏の灯ろうまつり、秋のハロウィン、春の桜まつりを地域資源とし、“うわまち浪漫”の統一コンセプトにより実施する中で、中学生・大学生と連携して若者の視点を取り入れたイベントの企画実施やポスター作成等を行うことなどにより、上町エリアを地域ブランドにしていく事業
3	本鵜沼商店街協同組合	理事長 古河 弾	藤沢市	当商店街に近接する「はす池」を地域資源とし、県内産のレンコンを活用し、ネーミングを「恋婚」(れんこん)に統一した商品開発を行うことや、カップルの街という「物語」(ストーリー)を新たに作るなどにより、「本鵜沼はす池通り物語」を地域ブランドにしていく事業
4	横浜駅西口五番街商店会協同組合	理事長 七尾 弥三郎	横浜市	サッカーJ2横浜FCを地域資源とし、横浜FCホームゲーム当日に割引が受けられる「ごちそうフェスティバル」の実施、横浜FCにちなんだご当地ドリンク開発、サッカーボール仕様の街路灯カバーへの交換などを通じて、横浜FCのサポーターを作り、育成するとともに、商店街にサポーターが集う仕掛けを行うことで横浜FCサポートタウンを地域ブランドにしていく事業
5	藤が丘商店会	会長 佐々木 恵美子	横浜市	昭和大学藤が丘病院がある街という地域特性を活かし、「心豊かで健やかな暮らし」をテーマに、夜間カルチャー講座の実施、近隣住民向けのフリーペーパー「Fujigawalker」(ふじがウォーカー)の発行、ご当地カクテル「ふじがウオッカ」の多方面利用等をあわせて行いながら、商店街の店主の魅力や匠の技を伝える商店会ミニカルチャー講座「藤・カルチャー・カフェ」(まちゼミ)を地域ブランドにしていく事業
6	オダワランド	代表 林 祐司	小田原市	小田原式屋台や小田原の特産物を活用したラーメン(食)を地域資源として、当地の古き良きイメージをそのまま残しつつ、新たなイメージを構築するため、地域特産品等を活用した屋台ラーメンイベントなどを実施することで、「小田原屋台フェスタ」を地域ブランドにしていく事業
7	チネチッタ通り商店街振興組合	理事長 猪熊 俊夫	川崎市	映画館やライブホールと一体となった商店街のイタリア風の街並みを地域資源とし、季節折々のイベント(夏祭り、ハロウィン、モントルージャズフェスティバルインカワサキ、噴水マッピングショー)の開催を組み合わせ、“非日常的な”空間を創造することにより、街のエンターテインメント性を地域ブランドにしていく事業

	事業実施団体	代表者名	市町村名	事業概要
8	SunSunマルシェ実行委員会	代表 相山 洋明	平塚市	平塚産の素材や産物、平塚らしいこだわり品や特徴のある魅力的な商品を地域資源とし、これらを紹介・販売することにより平塚の良さを知ってもらうとともに、平塚の商業・観光資源に育て、日常的に平塚にきてもらうため、定期市「SunSunマルシェ」を地域ブランドにしていく事業
9	日吉商店街連合会	会長 深瀬 武三	川崎市	地元にゆかりのある太田道灌とその伝説を地域資源とし、同じ道灌ゆかりの伊勢原と連携した手作りかぶと教室やかぶとコンテストの実施、ゆるキャラ「どうかんくん」の活用、まちゼミの実施などを行うことにより、「日吉まつり～道灌祭～」を地域ブランドにしていく事業
10	湯河原町商店街連合会	会長 村上 一夫	湯河原町	湯河原駅前通り明店街の手作り市「ぶらん市(ち)」や温泉場商店会の竹灯ろうをつかった「灯(あか)りの祭典」、特産品「夢豆花(ゆめとうか)」(地元湯河原十二庵の豆乳を使用したスイーツ)を改良、発展させるなど、地元の食材を使用した商品を開発し、ここでしか買えない湯河原の名物とすることなどにより、さらに地域ブランドとして磨き上げていく事業
11	一般社団法人地域活性化協議会	理事長 大久保 隆	藤沢市	慶応大学湘南藤沢キャンパス(SFC)で情報通信の研究が進んでいるという地域特性を活かし、商店街内に設置した様々な人材の交流の場であるコミュニティスペースを中心に、ちょい呑みフェスティバルやまちゼミの開催にあたって近隣大学等と連携してICTを活用するほか、地元の中学・高校と連携した商店街応援団などによって、スマホタウン藤沢を地域ブランドにしていく事業
12	商店街振興組合元町クラフトマンシップストリート	理事長 打木 徹	横浜市	一流飲食レストランが立地している地域特性を活かし、回遊型ストリートフェアである「横浜元町CSフードフェア」を核として、飲食・物販・サービス等の各店舗が一体となって取り組むことにより、近隣商店街と連携しながら「横浜元町」のさらなるブランド力向上につなげていく事業
13	辻堂LOVER'S	代表 藤田 大輔	藤沢市 茅ヶ崎市	辻堂駅北口のテラスモールの開店を南口への集客のチャンスととらえた商業者が、市域商店街を越えて集まり、東京から50分圏内であっても、湘南の海を感じられる「辻堂らしさ」をテーマに地域ブランドを形成していく事業。具体的には安価で食事ができる「辻堂ごはん」など辻堂駅周辺の魅力を知ってもらうため、フリーペーパーやWEBによるプロモーション等に取り組んでいく。